

平成25年4月11日  
受信環境クリーン中央協議会

## 電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人8件、団体1件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：岡井 元 一般財団法人情報通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人及び団体に対して表彰を行うこととしました。

なお、表彰式は、来る4月15日（月）午後5時15分からKKRホテル東京「孔雀の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

氏名	職業	実績の概要
あきやま 秋山 におさむ 脩	元NHK職員・前NHK営業サービス(株)	NHK在職中の平成4年から16年にかけて、主に建造物障害の解消にあたり、建造物障害の予測技術向上や関係業界指導を通じて、原因者責任主義の定着に大きく寄与した。特に、平成12年から14年には、東京都環境影響評価審議会の専門委員として、建造物による受信障害の解消に大きく貢献した。NHK退職後は、電話受信相談業務を通じて、放送のデジタル化が電波障害の低減につながることを、国民・視聴者に広く周知・啓発を行い、地上デジタル放送の普及・向上に貢献した。
こんの 金野 文隆 ふみたか	東日本旅客鉄道(株) 仙台支社総務部（出向）	16年間にわたり、新幹線テレビ受信障害対策に関する業務を担当し、新幹線沿線における安定したテレビ受信環境の確保のため、保守会社との連携を密にしながら共聴施設の機能維持に貢献した。また、地上デジタル放送への完全移行の際には、121組合に対するJR東日本の対応方針の説明及び技術的助言等を行い、受信障害対応に貢献した。
あきやま 秋山 やすお 弥寿雄	(一財)電波技術協会 専門委員（非常勤）	昭和40年に電波技術協会に入協して以来、アナログからデジタル放送に至る40有余年にわたり、電波技術協会の主要業務である様々な放送用受信機の性能調査をはじめ、本州四国連絡橋による電波障害防止対策のための調査、アナログ周波数変更対策業務、放送用周波数帯域を利用した携帯端末向けのマルチメディア放送システム等の技術基準策定のための調査等に携わり、電波障害未然防止のための各種業務に一貫して従事し、受信障害の防止に貢献をした。
ひだか 日高 しんさく 新作	アイシン共聴開発(株) 代表取締役	昭和46年に日高通信（現アイシン共聴開発(株)）を創立し、以来、テレビ難視地区の改善及びテレビ受信障害改善対策工事に携わる。平成3年(社)日本CATV技術協会関東支部に入会后、調査部会及び施工部会を通じて一貫してテレビ電波障害改善対策の調査・施工に関わり、関東支部幹事（施工部会長）や関東支部副支部長（施工部会長）として、各委員会・部会を通じてテレビ受信障害改善の推進に貢献した。

さわや くにお 澤谷 邦男	東北大学大学院工学 研究科 教授	平成7年度から6年間、当時の東北電波障害防止協議会・技術部会長、平成13年度から12年間は東北受信環境クリーン協議会の会長として、都合18年の長きに渡り、協議会の健全な発展に寄与した。また、技術部会での調査研究発表や総会・放送受信障害解消セミナーでの講演、放送受信障害解消セミナーなどのテーマや講師の選定及び依頼などに尽力し、受信障害解消に貢献した。
まつお けんじ 松尾 建治	受信サービス（株） 代表取締役	昭和54年に会社を設立以来、永年にわたり、受信障害改善業務に携わり、アナログ放送時代のゴースト障害、アナログ放送からデジタル放送への移行期のデジタル放送受信相談、デジタル放送移行後のフラッター障害等に対して、高度な技術力と経験をもとに開発した手法による障害調査など各種対策を実施し、受信環境の改善に貢献した。加えて、平成21年度に受信環境クリーン月間中の千葉県連絡会主催のセミナーに於いて、「地上デジタル放送受信の障害事例と対策」についての講演を行うなど積極的に受信環境クリーン協議会の活動に協力した。
はぎなか ゆきお 萩中 幸雄	画家 富山県美術連 合会 常任相談役	受信環境クリーン図案コンクールの審査委員を、昭和56年から平成24年までの間に20回も務められた。美術に対する高い見識により多数の応募作品を厳正に審査され、受信環境の維持・改善に関する知識の普及啓発に多大な貢献をした。
たから いまお 高良 勲	元デジサポ沖縄セン ター長	沖縄放送協会、NHKに34年間、(株)NHKアイテックに5年間在籍し、テレビ・ラジオ・BSの受信技術者として、受信障害解消のための予測・調査・改善指導と共同受信施設の維持管理に尽力された。その後、デジサポ沖縄のセンター長として3年間在籍し、長年の豊富な経験と知識で沖縄県の地上デジタル放送完全移行に貢献した。

【団 体】

氏 名	実績の概要
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援 機構 鉄道建設本部 九州新幹線建 設局	福岡市博多区から熊本県八代市に至る九州新幹線建設に際し、沿線住民の電波環境確保のため、建設後の建造物及び列車走行によるテレビ受信障害を事前に調査・予測し、その対策を実施した。これにより、沿線住民の十分な理解と協力を得て、新幹線開業後のテレビ電波受信障害の積極的な解消に努め、電波障害対策の推進に大きく貢献した。

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で55回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局  
（一般財団法人情報通信振興会内） 関  
（電話03-3940-3981）